

2007年10月15日発行

特集：「団塊の世代」

「団塊の世代」に関する資料は、図書館にたくさんあります。たとえば、図書館ホームページの蔵書検索で、タイトルに「団塊」を入力して検索すると、６１件ヒットします（１０月１日現在）。「セカンドライフ」や「シニア」など、いろいろなキーワードで検索してみてください。

『[団塊パワーが拓く新市場－新たな財・サービスの創出と地域の活性化](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001334084&CTG=1&RTN=01&SID=000062332&RTNPAGE=/search.shtml)』　財)東北産業活性化ｾﾝﾀｰ編

　日本地域社会研究所　2006.8

多角的・総合的な調査を基に、団塊という巨大マンパワーが地域にどんな効果をもたらすか、を分析。

『[パート・高齢者・非正社員の処遇の仕組み－モチベーションを高め有能な人材を確保する](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001304618&CTG=1&RTN=01&SID=000062333&RTNPAGE=/search.shtml)』

白石多賀子ほか著　中央経済社　2006.6

退職後の再雇用者やパート社員等を有効活用し、魅力的な組織を作るには。高年齢者雇用安定法改正に対応。

『[図書館に行ってくるよ－シニア世代のライフワーク探し](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000896998&CTG=1&RTN=01&SID=000058666&RTNPAGE=/search.shtml)』　近江哲史著　日外ｱｿｼｴｰﾂ　2003.11

図書館は知の宝庫と言われます。将来の予定が決まっている人も、そうでない人も、一度図書館に来てみませんか？

『[人は60歳で何をしたか](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001412559&CTG=1&RTN=01&SID=000058669&RTNPAGE=/search.shtml)』　藤原治著　文藝春秋　2007.4

小林秀雄、クリント・イーストウッド、手塚治虫ら、巨匠44人が60歳の時に成し得た事とは。

『[定年後大全2007-08－セカンドライフをいきいき過ごす51の知恵－](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001394111&CTG=1&RTN=01&SID=000058670&RTNPAGE=/search.shtml)』　日本経済新聞出版社

雑誌「[ノジュール　－50代からの自分ライフを格好よく！](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?MAGAZINE=ON&ITEM1=A&KEY1=%83m%83W%83%85%81%5b%83%8b&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)」　ＪＴＢパブリッシング

30年前に堺屋太一が命名した「団塊」。その語源である鉱物用語・ノジュールが誌名となっています。

その名のとおり、団塊世代のための雑誌です。最近は他の雑誌でも「団塊」特集が目につきます。

★インターネット上の情報は玉石混淆、慎重に情報を確認しましょう。（URLは10月１日時点のものです）

「シニアルネサンス財団」（主務官庁・内閣府）<http://www.sla.or.jp/index.html>

「セカンドライフ」（All　About）<http://allabout.co.jp/secondlife/?FM=kyoka_secondlife>

「健康いきいき心ときめき」（静岡県厚生部長寿政策室）<http://www.kenkouikigai.jp>

「静岡倶楽部」（静岡市役所市民生活課）<http://www.dankaiclub.jp/index.php>

「シニア：知るぽると」（金融広報中央委員会）<http://www.shiruporuto.jp/info/senior.html>

「ツーリズム　団塊のツアーとは」（日航財団）

<http://www.jal-foundation.or.jp/html/tourism/toppage.htm>

☆図書館のホームページに、団塊の世代向けメニューを追加する予定です。（１２月公開）



図書館を活用しませんか？

　「図書館の資料を借りてみましょう」

図書館の資料が、公用で必要な場合は、図書館に電話でお申込みください。

その際、「貸出カードの利用者番号、氏名、課名、借りたい資料のタイトル」をお伝えください。貸出カードは、必ずご本人のカードをご利用ください。貸出期間は２週間です。

行政課の棚経由で、専用の袋に入れて、資料をお送りすることもできます。

返す場合には、行政課の棚経由もしくは、直接図書館へお返しください。

☆貸出できない資料（禁帯）の利用、長期間の貸出、貸出返却方法等については、電話でご相談ください。

レファレンス事例

　「三島市長が公用車をプリウスに替えた際の写真つき新聞記事はあるか？」

**「レファレンス　サービス」とは？**

司書が、あなたの調べたいことについて、資料や情報を探して紹介したり、調査法などの相談に応じるサービスです。



**＜回答＞**

・1998年12月25日読売、産経、東京、26日伊豆日日、

1999年4月6日静岡、4月1日伊豆日日に、

市長と車の写真つき記事がある。

**＜調査方法＞**

　・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ「G-Search」で静岡新聞の記事見出し検索。

　・ｷｰﾜｰﾄﾞ「三島市」＆「ﾌﾟﾘｳｽ」で、2007年9月1日までに3件の記事がﾋｯﾄ。

・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽには写真が載っていないため、掲載日近くの【新聞記事スクラップ】を見て、写真を確認。

**★【**新聞記事スクラップ】とは？

三島に関連する新聞記事を切り抜いたスクラップ集です。対象は静岡、伊豆日日、朝日、読売、毎日、産経、東京（中日）新聞で、1961(昭和36)年6月から保存しています。

☆ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽは著作権上の問題等があり、広告はすべて、写真や署名記事は一部収録されて

いませんので、現物の新聞にあたる必要があります。

**（＠ｏ＠）!**

図書館所蔵の新聞一覧⇒<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/shinbun.html>

**図書館は、隔月15日に、三島市職員向けにメールマガジンを発行します。**

**ご意見・ご質問は図書館本館へ。電話９８３－０８８０（内線６３８９）**

<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>

今月のピックアップー新着資料から

約五万三千人と人口日本一の村、岩手県滝沢村。平成六年～十八年の三期十二年で、元村長の柳村純一氏が、赤字状態であった村役場を健全な自治体へ改革した。民間流の経営手法は、全国的に知られる。「村長を〝社長〟、職員を〝社員〟」と呼び、係長・課長補佐を廃止し「課長投票制」を導入するなど、その改革は大変思い切ったものである。平成十八年には、地方自治体としてはじめて「日本経営品質賞」も受賞。元村長を中心として書かれているので、実際現場の職員は、どのように意識を変えていったのかが、少し気になるところである。ぜひ一読してみませんか。

『[「日本一の村」を超優良会社に変えた男](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001451763&CTG=1&RTN=01&SID=000061449&RTNPAGE=/)』

溝上憲文著、講談社

